

「成長を続ける都市」藤沢



藤沢市は、都心から約50km、50分圏内に位置し、「湘南の海」「豊かな緑」「温暖な気候」に恵まれ、住宅・産業・自然環境等のバランスのよい多彩な魅力のあるまちとして発展を続けています。江の島や湘南海岸などを有する全国有数の観光都市、市内4大学を有する学園都市、いずゞ自動車藤沢工場や湘南ヘルスイノベーションパークなど生産拠点やR&D機能が集積する産業都市でもあります。



© 公益社団法人藤沢市観光協会

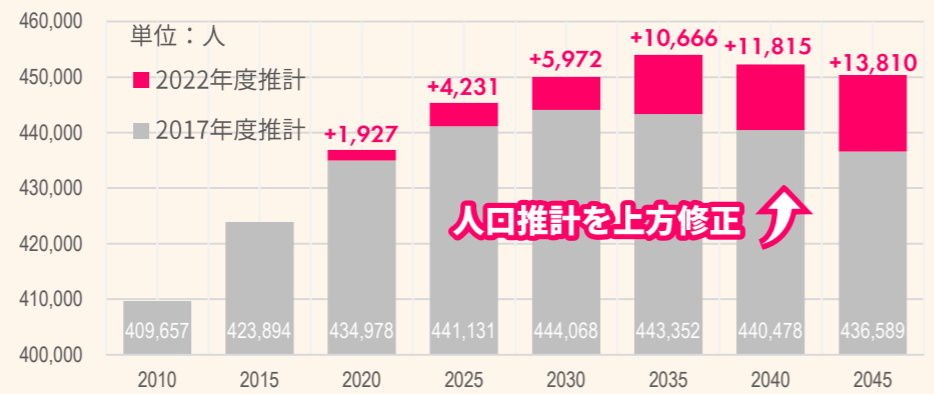


藤沢市健康と文化の森地区 まちづくりのご紹介

子育て世代の若いファミリー世帯に人気の高いエリア

藤沢市の人口は約44万人。全国有数の人口増加都市で、若いファミリー層の転入が大変多いまちです。市は将来的な市内人口のピークを上方修正し、2035年に約45.4万人に到達するとの推計を発表しました。特に子育てに適したまち、子育てしたいまちとしての人気が高く、自然豊かな湘南エリアの中心都市として、ますます注目が高まっています。

藤沢市の将来人口推計



慶應義塾大学SFCに隣接する郊外の自然豊かな環境で始まるまちづくり「みらいを創造するキャンパスタウン」誕生



海だけでなく、自然も食も歴史も便利さも、子育てや介護、安全安心も、胸を打つ魅力にあふれる藤沢市。その北西部、台地と谷戸で構成される遠藤地区において、総面積約36ha、隣接する慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスと一体になったまちづくりが始まります。



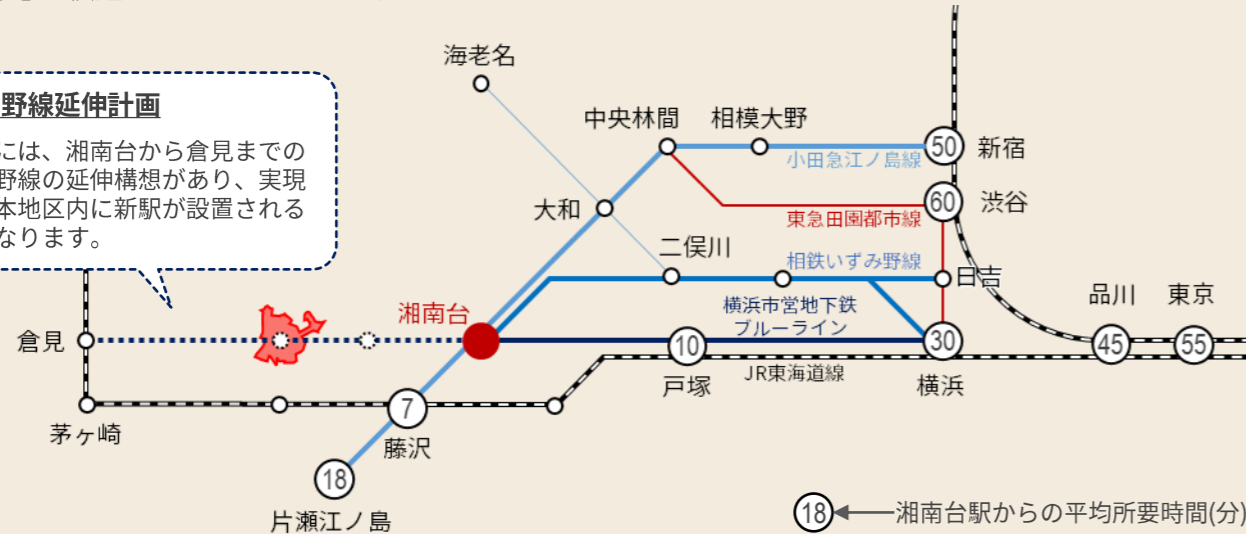
藤沢市 健康と文化の森地区 土地区画整理準備会

交通アクセス

最寄り駅である湘南台駅には小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーラインの3路線が乗り入れ、都心へ快適にアクセスできます。

いずみ野線延伸計画

将来的には、湘南台から倉見までのいずみ野線の延伸構想があり、実現すれば本地区内に新駅が設置されることになります。



慶應義塾大学SFCと産学公連携のまちづくりを推進

健康と文化の森地区は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）に隣接しており、共にまちづくりに取り組んでいます。本地区では、大学の立地を生かした産学公連携による研究・開発機能の集積を目指しています。

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（通称SFC）



健康と文化の地区における「文化の森」の中核施設となる施設。キャンパス内には総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部の3つの学部と、政策メディア研究科・健康マネジメント研究科の2つの大学院研究科、慶應義塾湘南藤沢中部・高等部がある。大学という社会課題が集約する拠点において、総合政策学部は政策的観点から、環境情報学部は数理的観点から、看護医療学部はヘルスケアの観点から問題発見・解決に取り組んでいます。

湘南慶育病院



健康と文化の地区における「健康の森」の中核施設となる施設。急性期・回復期・慢性期とシームレスな医療を提供しています。また、SFCとの連携やITを活用した見守りサービス等、地域住民の健康を守る先駆的な取組を実施しています。

企業立地等支援施策

藤沢市では指定地域における企業立地等（事業所の新增設や設備投資等）を行った企業に対して、「税制上の支援」を行っています。特にロボット分野に係る事業を行う企業に対しては、要件の緩和と優遇措置を拡大しています。そのほか、「税制上の支援」の上乗せ制度として「雇用奨励制度」と「利子補給制度」、さらに、藤沢市が指定する重点産業を行い、オフィスビル等に進出する企業の賃料等の一部を助成する「立地促進制度」を支援メニューとして用意しています。

本地区に立地する企業に向けた支援施策については個別にご相談ください。

- ◆税制上の支援措置
- ◆企業立地雇用奨励補助制度
- ◆企業立地促進融資利子補給制度
- ◆重点産業立地促進助成制度

※掲載のイメージは計画段階の案になります。

まちづくりビジョン「みらいを創造するキャンパスタウン」

健康と文化の森地区は藤沢市の都市拠点として、活力ある環境共生型の都市の形成を目指していく地区に位置づけられています。多くの研究者、学生が在籍する慶應義塾大学SFCを核として、学術研究・テクノロジー・文化的活動の集積を図るとともに、多様な主体が連携し、豊かな自然環境を生かした健康まちづくりを進めることにより、未来を創造するキャンパスタウンを推進します。

みらいを創造するキャンパスタウン

新しいライフスタイルを生み出し、持続的に発展しつづけるまち

活力創造・文化・交流のまちづくり

環境共生のまちづくり

健康・医療のまちづくり

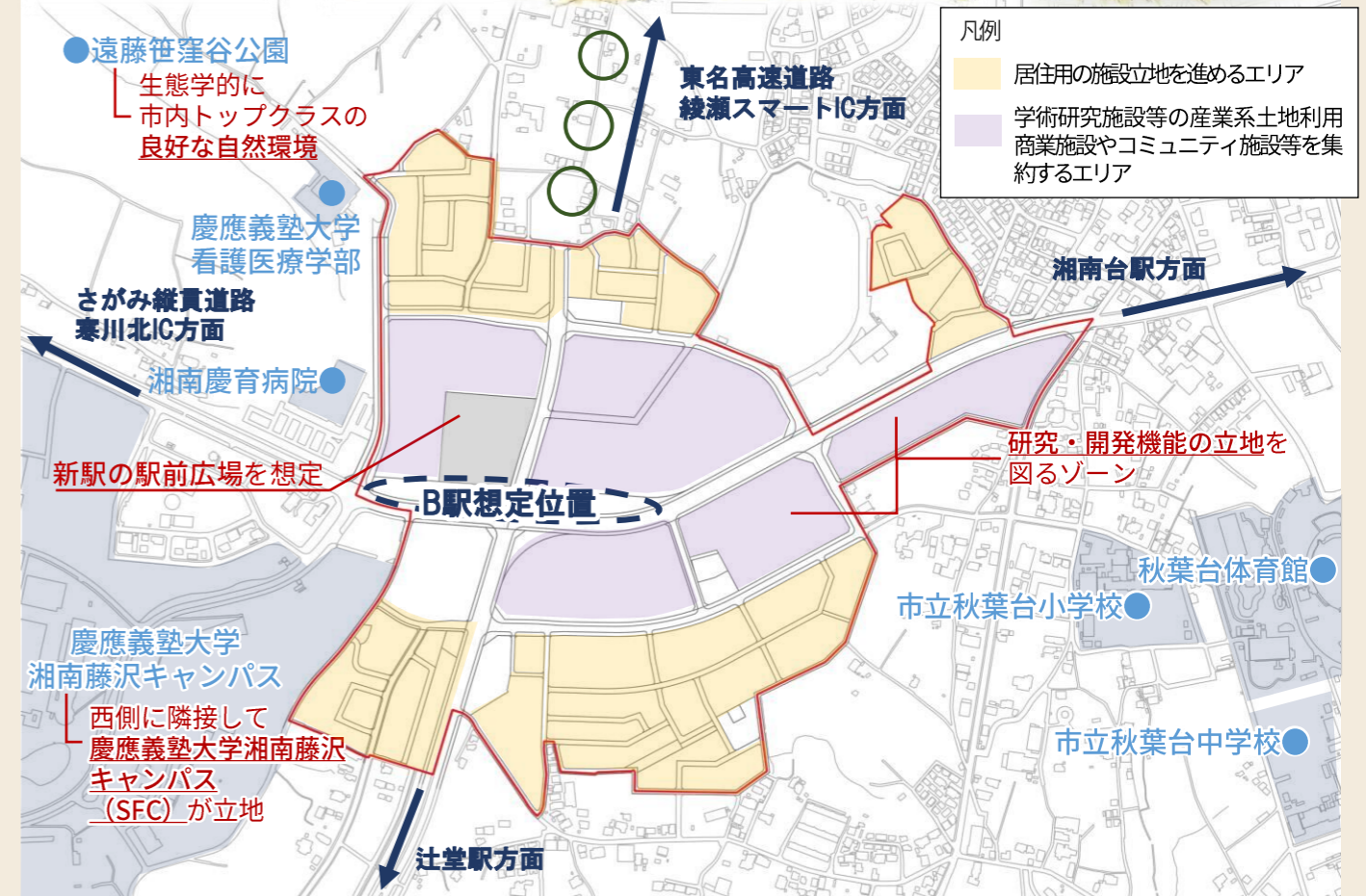
農を活かしたまちづくり

豊かな自然や田園空間を背景に、大学の技術集積や学術研究機能を核とし、地域の強みを活かしたまちづくりを展開

出典：藤沢市健康と文化の森地区まちづくり基本計画

自然と調和した魅力的な都市空間の形成と地域の魅力向上、持続的に発展するための“共創”

湘南台駅から約3 km、バスで約10分の場所に広がる約36 haの大規模開発地にて新たな拠点を創出します。まちの中心エリアには、都市的機能を集約、緑空間（グリーンベルト）を挟んで、周りには良好な住宅地を整備します。



産学公連携による“共創”の仕組みづくり

このまちで暮らす人や働く人、訪れる人にとって、魅力的な都市機能の集積と快適な空間形成、“共創”の仕組みづくりにより、地域の魅力を高め、持続的に発展するまちづくりを進めます。

